



地域のみなさまと
歩み50年、これからも。

50TH ANNIVERSARY

医療法人賀新会 50周年



MESSAGE

当院は昭和48年より玉島第一病院として医療を開始し、本年で50周年となります。平成29年プライムホスピタル玉島として新たな一步を踏み出しました。

新体制直後より、西日本豪雨災害やコロナパンデミックなど、未曾有の医療危機を経験しました。その中で地域に率先して真備地区の被災者の入院治療・介護連携を進め、またコロナでは救急・入院体制・ワクチン集団接種体制の確立に努めました。地域の病院として皆様にお役に立てる事は何かを考え、一步一步進んでまいりました。

お陰様で最近「プライムはしっかりしている！院長は適当だけど」と、いった類のお言葉をいただくようになりました。これは私への最高の褒め言葉です。

今後も当院は、地域における医療・介護の下支えとなるよう、地道に進んでまいりたいと考えています。

よろしくお願い申し上げます！



医療法人賀新会
理事長 院長 西山 武



ニューライフサービス有限会社
第一ホスピタルサービス有限会社
代表取締役 西山 慶子
(乳腺外科医)

新病院の建築計画より打合せに参加し約7年、令和元年に乳腺外来を開設して約4年がたちました。大勢のスタッフや地域の皆さまに支えられこの病院が成りたっていることを実感するとともに、これまで以上に地域に必要とされる病院として繁栄していくことを祈念いたします。

院長の妻として、MS法人の代表として、一乳腺外科医として、この病院を支える1本の柱になりたいと思います。

ご利用者様、地域の皆様はじめ近隣の医療機関、各企業様に支えられ、また多くの職員にも支えられ半世紀。

私も50歳となり当院と共に歩んでおります。

次の半世紀、さらにご愛顧いただけるよう精進して参りますので、引き続きご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。



医療法人賀新会
法人事務局長 大島 由久



Founder ~ 創始者 ~

医療法人賀新会 名誉理事長 名誉院長 西山 剛史 「危機克服に全身全霊を尽くす」

昭和15年4月10日岡山県上房郡上竹荘村で西山家の長男として生を受けました。村民の皆さんから祝福されての幼少期であったと思います。しかし、その年太平洋戦争が勃発し、父が出征をすることになりました。昭和20年8月日本敗戦により終戦を迎えましたが、新しいアメリカ式社会のなかで旧地主の農地は解放という名のもとに失いました。戦地からの父の消息は届かず、祖父は病身に臥していました。5才の私の心に危機意識が走ったのを記憶しています。その後もいろいろな危機に何度も遭遇します。「危機克服に全身全霊を尽くす」それが私の人生であったと思うと愉快であると感じます。

50 YEARS of PROGRESS

賀新会 50年の歩み



プライムホスピタル玉島

1973 1975

- 玉島第一病院 設立 救急病院の指定を受ける



手術室 CT室

1981

- 組織を法人化 医療法人賀新会 玉島第一病院となる



受付 看護師詰所

1989

- 病床数77床に増床

- 10診療科目に増科(歯科・外科・泌尿器科・放射線科)
- 老人保健施設ニューエルダーセンター 50床新設
- 救急処置室(ペイン・クリニック)を改築
- MRI・全身用CT・その他の検査棟完成
- ICUを新設

1996

- ニューエルダー 指定居宅介護支援事業所 開設

1999

- 老人保健ニューエルダーセンター 100床増設
- ニューエルダー在宅介護支援センター開設
- ニューエルダーデイケアセンター開設

2003

- グループホームニューエルダー開設
- 訪問リハビリテーション ニューエルダー開設

2006

- デイサービスニューエルダー開設

2011

- 介護付有料老人ホーム ニューエルダー 50床開設
- 玉島第一病院 リハビリ棟増築

2012

- 訪問看護ステーション青空 開設
- 倉敷市玉島東高齢者支援センター 受託

2014

- 介護付有料老人ホーム 松平48床開設
- 西山武院長就任

2017

- プライムホスピタル玉島へ 名称変更・新築移転
- スマイル保育園 開設

2019

- プライムホスピタル 玉島通所リハビリテーション 開設

2021

- café Ivory オープン
- 地域交流スペース Palette 開設
- 介護付有料老人ホーム アイボリー 開設
- 福祉用具ラボ アイボリー 開設
- 通所リハビリテーションアイボリー 増設

2022

- デイサービス アイボリー玉島開設

2023

- 賀新会50周年



開院当時の玉島第一病院 (整形外科・形成外科・麻酔科・脳外科・理学療法科・婦人科 病床数50床)

プライムホスピタル玉島という名称に込められた思い
「プライム(Prime)」には「優良の」という意味に加え、「根本の」という意味があります。地域医療の原点に立ち返ることで、より優れた医療環境の実現を目指しています。



介護老人保健施設ニューエルダーセンター グループホームニューエルダー 介護付有料老人ホームニューエルダー 介護付有料老人ホーム 松平 入居者の方が作ったオブジェ スマイル保育園



café Ivory プライムホスピタル玉島 通所リハビリテーション(アイボリー) 地域交流スペース Palette 開設



to next 50 years with people in tamashima

ご祝辞

衆議院地域活性化・こども政策・デジタル社会形成に関する特別委員長 衆議院議員 橋本 岳



医療法人賀新会プライムホスピタル玉島創立50周年誠にめでたうございます。西山家の皆様には祖父龍伍、父龍太郎と親子3代にわたりお支え頂きました。改めて感謝申し上げます。さて、貴病院は昭和48年に玉島第一病院として開院されて以来、やさしさの医療よるこびの福祉で地域医療の充実と向上に多大なる貢献を果たされてこられました。この度50周年を迎えられ、記念誌を発刊されることは大変喜ばしく、心からお祝い申し上げます。発刊にあたり西山剛史名誉院長、西山武理事長はじめ関係各位の地域医療にかけられる並々な熱意とご努力に対し、深く敬意を表します。急速に進む高齢社会において、医療を取り巻く環境が大きく変化する中、地域医療の模範・中核拠点として更に発展されますようお願い申し上げますとともに、病院を支えておられる職員の皆様のご健勝、ご多幸を、心よりお祈りいたします。



倉敷市長 伊東 香織
50年もの長きにわたり、地域の皆様の生命や健康の維持・増進に多大なる御貢献をいただいております。ことに深く敬意と感謝の意を表します。倉敷市の目指す温もりあふれる健康長寿のまちの実現に向けて、今後とも御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。貴会の益々の御発展と皆様の御健勝、御多幸を心から祈念し、お祝いの言葉といたします。



玉島医師会会長 植村 庸治郎
このたびプライムホスピタル玉島が創立50周年を迎えられること心よりお祝い申し上げます。プライムホスピタル玉島は、その前身である玉島第一病院として昭和48年に設立されました。その後平成29年に現在地へ新築移転され現在に至っています。その間、地域医療の充実と常に努めてこられました。さらに老人医療、介護分野にも対応され、まさに玉島地区に無くてはならない存在となっており、今後の発展が期待される所です。最後になりますが、プライムホスピタル玉島の職員ならびに関係者の皆様のご健勝とさらなるご活躍を祈念いたします。



乙島小学校区 コミュニティ協議会 顧問 重政 満恵
プライムホスピタル玉島50周年おめでとうございます。玉島第一病院として、開院と同時に、民生委員として、色々の行事に、参加させていただきました。当時珍しかったうずき荘へ、月一回の奉仕活動をなつかしく思い出されます。



乙島東小学校区 社会福祉協議会 会長 小野 貴
創立五十周年、誠にめでたうございます。さて、平均寿命が延びても、老いて長く生きるのではなく、若々しく長く生きることが大切だとされています。それには住み慣れた地域で、健康で心豊かに暮らすための拠り所が必要です。これからも末永くお支えをお願いするとともに、更なるご発展を祈念いたします。



上成小学校区 コミュニティ協議会 相談役 出口 祥三
賀新会設立50周年大変おめでとうございます。昭和48年に国道2号線沿いに素晴らしいモダンな大きな病院が出来上がり周りのみんなが驚きました。私も病気で無しのに病院内部が気に入り、そっと入り込んで待合所でテレビを見ていたことを思い出します。その後、老健施設など次々とアツと驚くような素敵な建物が建って、病院の付近は、「第一病院村」と言われるようなタウンになっていきました。病院の開院当時、北側は一面、稲田が広がっていました。住宅やマンション、アパート等が林立する現在の様子は全く予想すらできませんでした。北を走る中湯道路沿いに、私と妻とで昭和49年に平屋で赤い屋根の小さなよう保育園を開園して近くの子ども達の保育を始めました。保育園と第一病院を繋ぐ道は、軽四輪トラックがやっとなと走れる細い農道が一本あっただけです。その細い道を奥の奈々子さんが、自転車で院長さんら兄弟を乗せて保育園に送迎しながら、病院の経理や職員管理、庶務全般を担当して大変忙しく過ごされていたことを思い出します。これからも、貴施設の益々のご発展をお祈りいたします。



People who have supported for a long time.

看護師長として18年、大きな出来事は病院の移転とCOVID-19です。どちらも職種の垣根を越えて職員一丸となって工夫をし、乗り越えています。今後も地域の病院として取り組んで参ります。

プライムホスピタル玉島 看護師長 森元 真理江



入職当初は、PT1 人リハ助手1人が今は約30名のスタッフとなりました。4年前より通所リハビリ、昨年よりスポーツリハビリも始めました。これからも地域の皆様へ貢献できるように頑張っていきたいと思っております。

プライムホスピタル玉島 リハビリ部門 部長 塚原 裕子



私が就職した時は病院だけでしたが、次々に事業所が増えていきました。当ホームは平成24年に開設し、12年目を迎えます。お陰様で地域の皆様に多数ご利用していただき、感謝の念でいっぱいです。

介護付有料老人ホーム ニューエルダー 施設長 井手 きり子



私が最初に賀新会に入社したころは周りに田んぼのあるのどかな環境でした。今や、病院以外に福祉施設も充実し、私自身も病院勤務から施設職員へと働き場所を変えながら続けさせていただいています。働きやすい環境に感謝し今後も頑張っていきたいと思います。

介護付有料老人ホーム 松平 施設長 有馬 幸江



私たち介護職員は利用者様やご家族様からの「ありがとう」の言葉と笑顔に日々力を頂いています。これからも利用者様を思いやる心と優しい気持ちを忘れず、自分達の果たすべき役割を探求しながら頑張っていきます。

介護老人保健施設ニューエルダーセンター 部長 山本 真由美



50年と一言でいうと簡単ですが、紆余曲折を経ての現在があると思います。ニューエルダーセンターの理念にもあるように「地域に愛される施設」であり、私自身も年を重ねた時、お世話になりたいと思っております。

介護老人保健施設ニューエルダーセンター 看護師長 今井 良恵



利用者様が住み慣れた自宅で生活を続けていけるよう、他職種と力を合わせリハビリテーションに取り組んでいます。これからも、利用者様に寄り添い、個々にあったケアができるよう頑張っていきたいと思っております。

通所リハビリテーション ニューエルダー 部長 原田 幹



Corporate director

医療法人賀新会 理事

介護老人保健施設ニューエルダーセンター施設長 鎌田 昌樹

昭和の時代に設立された医療法人、平成になり老人保健施設を併設しました。当初は病院と自宅の橋渡しの役割を担い、平成20年頃からリハビリを重視し利用者さまの在宅復帰を目的とした施設へと変化し、超高齢化社会を迎えた令和の時代、多死社会の中で看取りケアは老健にとって重要な役割となっています。医療と介護の両輪で地域の「頼れる存在」であり続けたいと考えています。



Masaki kamada